

ご存知でしたか？

歯周病が全身をおびやかしているかもしれないことを……

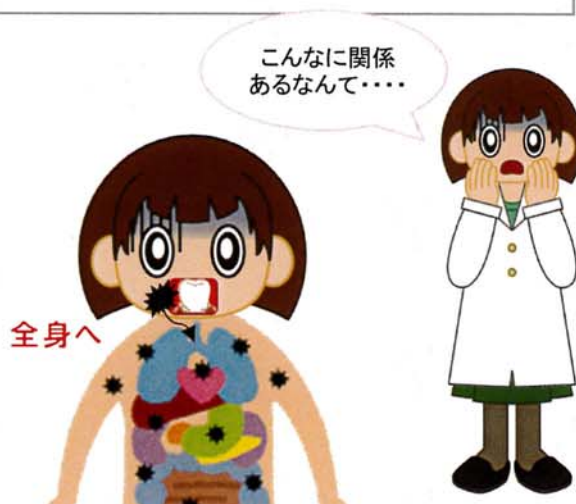
歯周病が原因のひとつとなって起こる全身疾患との関連性がわかってきています

### 歯周病とは……？

- 一般的な感染症で、歯の周りの組織が炎症を起こすが、重症化するまでほとんど症状がない「軽い慢性炎症」のことです。

### 歯周病が進行すると……？

- 歯周ポケット(歯と歯ぐきの間にある溝)内に形成された口腔内の細菌のかたまりである歯垢(プラーク)の中には歯周病原細菌(代表的なのはPorphyromonas gingivalis (P.g))が生息しています。
- 病巣から侵入した歯周病菌は血液を介して全身の様々な臓器に悪影響を及ぼします。
- 実際、歯周病原菌のDNAが冠状動脈のアテローム性病変や早産の胎盤から検出されています。



#### ● 糖尿病との関係 ●

- 歯周病による口腔内での慢性的な炎症が、血糖を下げるインスリンというホルモンを効きにくくする要因となるがことわかっています。また、高血糖の状態になると免疫力が低下し、歯周病菌が死ななくなり悪循環となります。



#### ● 心筋梗塞との関係 ●

- 歯周菌は歯ぐきの血管から心臓をとりまく血管に入っていく、アテロームとよばれるどろどろした塊を形成します。その塊が、心臓の血管に詰まって心臓に血液が届かなくなり、心臓が止まってしまいます。

